

# 2022年6月10日 第3389回例会

於： 横須賀商工会議所



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

<点鐘・開会> 12:30 八巻 会長

<斉唱> 「我等の生業」

<唱和> 「四つのテスト」

<ゲスト紹介> \*株式会社永和工業 取締役統括部長 永井 信年 様

<会長報告> \*第1グループ奉仕デーの御礼

300人の方に参加いただきました。ありがとうございました。講演会も好評でありました。

\*北村ガバナー補佐：ホストクラブとして担当にはお世話になりました。

1月に予定していたが直前で中止をせざるを得なかったが、奉仕デーとともに無事開催でき会長とも本当に良かったということをお話しました。ありがとうございました。

<委員長報告> \*前田会長エレクトより国際大会報告

3年ぶりに世界大会がヒューストンで開催されました。2780地区内総勢15名で参加してきました。12,000人の参加で盛り上がりました。RI会長、歴代会長、会長エレクトのスピーチを近くで聞くことが出来ました。次年度はオーストラリアのメルボルンで開催します。是非来年一緒に行きましょう。

<幹事報告> \*ガバナー月誌を配布いたします。

\*先日の奉仕デーがJ:COMで放映されます。

<出席報告> \*出席委員会 加藤 勲 委員長より6月10日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
115名	101名	69名(4名)	32名	14名	81.37%

<ニコニコ報告>

・勝間 会員 誕生月祝いとして

・畑、馬場 両会員 入会月祝いとして

・三 役 本日のクラブ協議会、年度報告。担当の皆様よろしくお願ひいたします。

・徳永、大野(勲)、新倉(良)、波島、澤田 各会員 本日の卓話は最後になりましたクラブ協議会(年度報告)です。発表のみなさん、どうぞよろしくお願ひします。

・三 役 第1グループ奉仕デーでは、皆様にご協力いただき、成功裡に終了しました事、お礼申し上げます。

・梁井、瀬戸、立石、大石、木村、石田、岡田(良)、  
勝間、畑、田中(勲)、田中(良)、加藤(勲)、杉浦、田村、小山(良)、  
北村、小平、波島、谷、佐久間、角井、鈴木(良)、笠木 各会員

6月5日(日) 1万メートルプロムナードクリーン作戦に参加の皆さん、お疲れ様でした。天候もどうか持ちこたえ素晴らしい奉仕活動が出来ました。

・田邊、岡田(良)、前田 各会員 国際大会に出席してきました。ありがとうございました。

・上林、齋藤(眞)、勝見、鈴木(勲)、澤田、猿丸、  
福西、藤村、杵淵、兼城、小山(良) 各会員

6月4日~6月7日、ヒューストン国際大会へ参加の皆様お疲れ様でした。また美味しいおみやげをありがとうございます。

・7番テーブル福西マスター、松本(剛)サブマスター 6月8日の7番テーブルミーティングには齋藤幹事、小山SAA、テーブルの皆さまと共に住よしさんと久し振りに親睦を深め楽しい会でした。皆さま有難うございました。

・比護、濱田、馬場、南、藤村、前川、小山(良) 各会員

8日(水)7番テーブルミーティングを「割烹住よし」にて開催いたしました。テーブルマスター福西さんのおもてなしにサブマスター松本明弘さんの話術と皆さんの笑顔の中、美味しいお食事を頂きながら楽しい一時を演出して戴きました。

- ・長 坂、岩 崎、江 口 各会員 6月12日(日)は、先日卓話に来て頂きました花田光司さんも「ちゃんこ」を振舞われる神奈川歯科大学の恒例ジャカランタフェスです。赤紫の花の下、沢山の方の来場を待っています。
- ・濱 田、長谷川、三 浦、長 尾、齋藤 眞、八 木 各会員 本日のタウンニュースに富士防の岡田圭太会員が神奈川県SDGSパートナーに認定登録で掲載。また、八木会員が進めるタクシーGOの世界28ヶ国で使用されているUber配車の記事も掲載されています。

## <卓 話> 第4回クラブ協議会(年度報告)

### 1. 会 長

八 巻 敏 博

今年度、新型コロナウイルスにより、例会や活動の中止を余儀なくされていましたが、ようやく、感染者が減少傾向になり、3月21日の地区大会以降、例会も開催出来、5月13日例会後には、天候の関係でコースを変更せざるを得ませんでした。職場見学会を実施でき、意外と見学していないティボティエ邸や浦賀ドックの見学もいたしました。また、延期をした第1グループ奉仕デー・10,000メートルプロムナードクリーン作戦も6月5日に実施でき、清掃後に行った参加高校生を中心とした「環境と経済が一つになる時代」と題した小泉進次郎前環境大臣による講演会も無事終了いたしました。参加いただいた会員の皆様、各コースリーダーの皆様、会場設営等運営にご協力いただいた会員の皆様、大変ありがとうございました。北村ガバナー補佐には、大変ご尽力いただき、この場をお借りして感謝申し上げる次第です。当クラブの特色の一つであるテーブルミーティングも再開され、最後の3か月余りは、やっと正常な運営に近づきつつあると思います。今年度、例会場の移動が多く、早い時間から会場設営をしていただき、大変感謝しております。また、会員の皆様にも、この点でも大変ご迷惑をお掛け致しました。次年度については、3階301研修室で例会を行うと聞いておりますので、このあたりも例年の状態に戻りつつあると感じております。

今後の感染状況も、まだまだ不透明な部分がございますが、今年度最終例会まで引き続き会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

### 2. SAA

小 山 陽 生

例年の例年、あの例会の監督者の立場ですが、ニコニコ報告では、滑舌不全、進行では先輩たちに叱られつつ、最近はずいぶん良くなったようなそんな感触を勝手ながら覚えております。今年度も例会開催が減少し役目が不完全な感じがしますが、最後に各テーブルミーティングが開催され、新会員の皆様はテーブルと誰が同じテーブルかが不明なまま参加されたのではないのでしょうか。そんな中でもテーブルごとの少人数での集まりは、お互いによく理解する上で、大切なツールとして改めて感じました。私の役目は、居心地の良い例会を会員皆様にご提供することですが、今になるともう少しこうすれば良かったと思うことが多々あります。しかし、私には強力な仲間がいます。中でもネット関係をお手伝いいただいた田中賢一会員や梁井会員、私の相棒の兼城副SAA、縁の下の力持ちになっていただいた三宅さんには、この場を借りてお礼を申し上げたいと思います。今年度ももう少しで終了となってしまいますが、残り少ない例会を会員の皆様に楽しんでいただけるよう、最後までしっかりと進みますので、温かい目でお守りください。どうもありがとうございました。

### 3. 副会長兼クラブ管理運営委員会担当

前 田 長 生

コロナで、度重なる休会が続きましたが、担当しております会報委員会、雑誌委員会、出席委員会、親睦活動委員会は、ブランクをものともせず、スムーズに例会の運営にご協力いただき感謝しております。次年度もよろしくお願いいたします。

### 4. 会報委員長

畑 宏 明

「会員の皆様へ正確、かつ迅速に各種情報をお伝えするとともに、読みやすく分かりやすい会報の作成を目指します」をモットーに、会報委員の方々のご尽力により運営できました。ご多忙の中、委員の皆様や事務局の三宅様の週報の作成には感謝の言葉しかございません。次年度は、比護会員に引継ぎしますので、これからも会報へのご支援よろしくお願いたします。一年間ありがとうございました。

## 5. 雑誌委員長

福西美子

毎月の「ロータリーの友」をわかりやすくお伝えする事を目標にしていきましたが、今年は休会がありましたので、全部で7回しかできませんでした。本の内容は、世界での様子、国内での活動の事柄などたくさんありますので皆様にはこれからは是非読んでいただきたいです。また、新会員の皆様には、「ロータリーの友」に目を通し、これからの活動に役立てていただきたいと思います。

次年度は9月を「ロータリーの友月間」として、新しく新設されることになりました。また、ロータリーの友は70周年を迎え、新しい企画になりますので、皆様、どうぞご期待ください。本年はありがとうございました。

## 6. 出席委員長

加藤 淳

今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響により、休会も余儀なくされる中、「ニューノーマル時代に相応しいリモートとリアルを使い分け、双方を活性化させバランスを保った例会」を目指し猿丸副委員長と連携し取組んで参りました。特に例会出席確認では「三役、SAA、親睦委員長、事務局」等、多くの皆様にご協力頂き確実な出欠把握の声掛けで出席率は2年連続79%台となる見込みであります。その営みが食数把握による「食材ロス」に結びつけSGDsにも貢献致しました。また、会員相互の親睦を深め、例会に参加しやすい環境づくりとして、親睦委員会の皆様にもご協力頂き、釣り同好会主催のイベントも実施致しました。その結果、Zoom・Make-up含めると23名の方が例会100%出席頂いております。最終例会で皆様が表彰される姿を今からとても楽しみにしております。改めまして、皆様のおかげで高い出席率を達成できたこと、心より感謝申し上げます。一年間本当にありがとうございました。

## 7. 親睦活動委員長

小山 美智恵

コロナ禍からの復活を期待し続けた一年で、親睦委員会としては2年ぶりの年忘れ例会を行うことができたと感じています。久しぶりの大きな行事で、ビンゴ大会などの準備には現委員のみならず前回担当していただいた会員の皆様を含め多くの方々にご協力いただきました。経験の浅い私が親睦委員長として何とかやって来られたのは、このような状況下においても委員のメンバーが例会場での受付などを担当しながら、協力し合い信頼関係を築く中で、私を支えてくれたおかげです。休会も多く延期や中止によるスケジュールの変更で狼狽する私を三役の皆様や諸先輩、会員の皆様にも指導していただいたこと感謝申し上げます。この気持ちをこれからのパワーに変えて進化していける親睦委員会であるといいなと思います。

## 8. プログラム委員長

鹿島 勇

例会の卓話プログラムに関しましては、会長、副会長、幹事の方々と連携を取りながら、会員の皆様にとって有益かつタイムリーな情報やコロナ禍での時局に鑑み、本学（神奈川歯科大学）の多彩な教授陣を動員し、健康増進に関する情報など、多岐にわたる内容を提供し、楽しいプログラム編成となるよう努めて参りました。こうした中で、新型コロナウイルス感染症の影響から、一時期、例会の中止や急な予定の変更が発生いたしましたが、卓話者の皆様の多大なご協力によりまして、振り返ってみますと様々な分野の方々の多様なお話を提供することができました。特に元貴乃花親方（神奈川歯科大学特任教授）の卓話につきましては、本年2月の開催予定がまん延防止等重点措置の関係から延期を余儀なくされましたが、本年5月、多くの会員の皆様の参加を得て開催できましたこと、誠に安堵しているところでございます。

一年間ご協力いただきまして本当にありがとうございました。

## 9. 広報・公共イメージ委員長

中村 清乃

今年度広報・公共イメージ担当としての主な活動は昨年11月7日のエンドポリオ募金活動、そして去る6月5日に行なわれた第1グループ奉仕デーの活動を内外にお伝えすることでした。

募金活動はJ:COMのニュースで放送し、3月の地区大会でもその映像を使って地区大会参加の方々に観ていただくことができました。奉仕デーは映像取材だけでなく、神奈川新聞、タウンニュース、横須賀経済新聞各社の協力を得て各紙面上でも報道してもらうことができ、また奉仕デー第二部のSGDs講演会はYouTubeで生配信を行い、当日会場へお越しいただけない会員の皆様にも視聴していただくことができました。奉仕デーの様子はガバナー月信最終号でもお伝えできるようになっています。

コロナ禍ではほぼ2年間の活動がなく、公共イメージ委員としても手探りだった今年度でありましたが、会員の皆様の協力により一年間を終えることができました。ありがとうございました。

#### 10. IT委員長 (Zoom含む)

小平 一穂

IT委員会、Zoomは連携し、例会のDX化としてコロナで出席を躊躇される方や、業務上例会場に参集できない方に向けて、Zoom参加のインフラ整備、拡充を中心に活動してきました。例会場ごと違う音響設備への接続方式の確立などまた課題は残りますが、快適なリモート参加ができるように運用の安定化を目指してきました。また、会報委員会と協力し、会報作成の効率化に向けてAI音声認識技術を用いた卓話自動記録の試行を重ね、来期以降に本格運用できる環境を整備してきました。DX技術は日進月歩で進化してきますので今後も乗り遅れないよう活動の進化を推進していきます。DXに関する要望がございましたら、ぜひご提案お願いいたします。一年間、ご協力ありがとうございました。

#### 11. ロータリー情報委員長

小林 康記

本年度は、11月21日と4月1日に情報集会を開催させていただきました。テーマは「横須賀ロータリークラブ中期ビジョンを語ろう」ということで、2度に渡り皆さんからいろいろなご意見をいただきありがとうございました。中期ビジョン委員長の植田威会員入会時期毎にまとめて、報告書を作成し会員の皆様に報告させていただきました。岡田前会長と植田委員長ありがとうございました。

#### 12. 職業分類委員長

齋藤 秀人

職業分類委員会の最大の目的は、多くの職業の会員が入会され、幅広いロータリーネットワークが構築されることです。残念ながら当年度はその役割を果たせない状況でありました。第1グループでも会員数が、純減7名という状況でした。今後は会員増強委員会と協力し、幅広い会員の入会を推進していかなければなりません。今後とも職業分類委員会へのご理解、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

#### 13. 会員選考委員長

木村 一郎

今年度も昨年に引き続きコロナではありましたが、会員の皆様のおかげで3名の新規会員の推薦をいただきました。それぞれの方に慎重に審査先行をさせていただき当クラブの会員としての資質を十分満たしていると判断して理事会に報告させていただきました。新規会員の皆様の今後のご活躍を期待するとともに、会員様のご協力に大変感謝しております。1年間大変お世話になりました。

#### 14. 会員増強・会員維持委員長

山田 晴史

2021-22年度会員増強・会員維持委員長を拝命いただきましたが、あまりにも力がなく諸々声を掛けましたが、私自身で一人も増強ができず、諸先輩方のお力をお借りして、本年度は3名増員が決まっております。まだ一か月ありますので最後の最後まで会員増強・会員維持活動に尽力いたします。また次年度は会員選考委員を任命されてますので、今年度の不甲斐ない活動成果を肝に銘じロータリー活動に尽力いたします。

#### 15. 職業奉仕委員長

八木 達也

今年度は残念なことが2つ、良かったことが3つありました。残念なことから申し上げます。1つ目は横須賀学院中学校の職業体験のうち、職場受け入れが今年度も叶わなかったことです。ギリギリまで判断がで

きず、中止が決まったのは前日でした。皆様には大変ご迷惑をおかけしてしまいました。2つ目は職場見学会のうち第二海堡クルーズが、降雨予報によりこれまた前日に、急遽欠航となり、貴重な体験を逃したことです。

次に良かったことの3つを申し上げます。1つ目は今年度念願の職業奉仕委員長に任命され、8年担当してきた横須賀学院中学校でのガイダンス講師を田中由紀子会員に引き継ぐことが出来たことです。講師を続けるのは自分が委員長になるまでと密かに心に決めており、今年度叶いました。八巻会長ありがとうございました。2つ目は、職場見学会が皆様のおかげで思いのほか充実したことです。クルーズの欠航は残念でしたが、参加者の皆様のポジティブシンキングにより、代替案の見学地が楽しく、スムーズに、そして内容も深く、クルーズの穴を埋められたことです。横須賀の歴史観光のポテンシャルも感じましたし、好意と友情を深めたと実感いたしました。最後に3つ目です。これは個人的なことですが、次年度もう一度同じ委員会でリベンジのチャンスをいただいたことです。今年度、やり残したことをできることは大変特別なことであり、嬉しいことです。前田会長エレクトありがとうございます。1年間ありがとうございました。

## 16. 社会奉仕委員長

澤田菊江

本年度の活動報告をします。

1. 昨年11月7日、第1グループ5クラブ・ローターアクト・三浦学苑インターアクト・米山奨学生から参加人数105名にてポリオ根絶募金キャンペーンを行いました。
2. 3月13日から延期となっておりました1万メートルプロムナードクリーン作戦を2部構成として、6月5日行いました。(6月5日、国連では「世界環境デー」、日本では「環境の日」と定めています。)

第1部は1万メートルプロムナードクリーン作戦といたしまして、第1グループ5クラブ・ローターアクト・米山奨学生・市内高校生・ボーイスカウト(中学生対象)と参加人数約300名で清掃活動を行いました。第2部は合同例会、SDGs講演会(於:横須賀商工会議所/多目的ホール)で行いました。会場はローターアクト・米山奨学生・市内高校生・ボーイスカウト(中学生対象)と第1グループ5クラブの会員の2つに分けて行いました。最初に合同例会の提唱の後SDGs講演会を、小泉進次郎前環境大臣を講師といたしまして、「環境と経済が1つになる時代」のご講演をいただき、その後、閉会の点鐘で終了いたしました。この活動の実施にあたり、参加人数を300名程度とし、クリーン作戦では軍手・ビニール手袋を2重にし、ソーシャルディスタンス、マスク着用、熱中対策もして行いました。また、会場では、消毒液、体温計、そしてエアークリーン4台を設置する等の感染対策をいたしました。参加して下さった皆様、ご協力くださいました多くの皆様に心より感謝申し上げます。先日の模様はJ:COMで6月11日、12日の11時、14時、17時、22時の計8回放映されますので、ご参加なさいませんでしたかは、ぜひ、活動をご覧いただければと思います。どうぞ、よろしく願い申し上げます。

## 17. 国際奉仕委員長

長尾和典

国際奉仕委員会の活動計画書に記載しました3件の活動計画:

- (1) フィリピンのセブロータリークラブ(RID3860)と協力のもとセブ市に設立した口唇口蓋裂センターへの医療スタッフへの技術移転のプロジェクト等を継続実施。
- (2) 海外からの来横者、交換留学生、Make-up、GSEなどに対し、必要な援助、協力。
- (3) 在日米海軍司令官を名誉会員に推薦し交友を深める。

については、いずれも、世界的にも、国内的にもコロナ感染症の克服に至らなかったため、本年度は実行できずに終了となってしまいました。しかしながら、本年6月1日より一部の国から日本へ帰国時の隔離期間が無くなる事が5月末に発表されました。次年度以降の活動に期待したいと思います。

## 18. 青少年奉仕委員長

曾我宗光

昨年度の状況と同じく、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響によりこれまで通りの活動を維持することが非常に難しい状態となりましたが、感染状況に応じてオンラインと対面での活動を組み入れながらローターアクト、インターアクト共に各プログラムを進めることができました。次年度もこの感染症の影響は続くものと思われませんが、コロナ禍におけるこの経験を活かして、スムーズに計画された活動が進んでいくことを願っております。最後に一年間、誠にありがとうございました。



## 19. ローターアクト委員長

角 井 駿 輔

今年度のローターアクトは、昨年度から引き続いてブルキナファソ支援活動を行う予定でしたが、ブルキナファソ産シアバターを石鹼に加工する際の薬機法違反疑惑やブルキナファソ内の軍部によるクーデターなど思うように活動できない部分がありました。他方で、エノーラ会員のご協力による、株式会社3Dプリンティングコーポレーションの見学やベースツアー、当クラブとの合同例会や、三浦学苑インターアクトクラブとの観音崎清掃合同奉仕活動の実施など、コロナ禍においても一定の活動を行うことができました。2年連続で委員長を務めてきた私ですが、次年度はエノーラ委員長の下、更なる奉仕活動が見込まれています。また、次年度からローターアクトクラブがロータリーの青少年奉仕プログラムから外れますが、当クラブが横須賀ローターアクトクラブの提唱クラブであることは今後も変わりません。会員の皆様におかれましては、横須賀ローターアクトクラブへの引き続きのご支援をお願い申し上げます。2年間ありがとうございました。

## 20. インターアクト委員長

鈴 木 之 一

少しづつはありますが、対面的な活動が行われた1年でありました。4月24日、ローターアクト委員会との合同例会を実施し奉仕活動への理解を深めるため、ローターアクトの経験談を伺い、観音崎での海岸清掃活動を実施。10,000メートルプロムナードにもインターアクトメンバーの協力を得られ多くの学びがあったと思います。地区においても4大事業がことごとく中止となり海外研修も実施できませんでした。三浦学苑が副DIRとなってアクターズミーティングが開催され、年末にはインターアクトクリスマス交流会、3月には日帰り研修・台湾3481地区とのオンライン交流会及び三年生を送る会を三浦学苑高等学校にて開催。4月にはフルオンラインで全国インターアクト研究会が開催されました。年次計画に則った事業がそれ以降できませんでした。ボランタリーマインドを養うには対面的な活動が必要だと再認識する一年でした。御協力をいただきました皆様一年間にありがとうございました。

## 21. ロータリー財団委員長

鷲 尾 精 一

地区目標である寄付関係のご報告をいたします。

1. 財団年次寄付目標（会員一人当たり200ドル以上）：大口寄付を含め皆様から頂いております会費納入時の寄付10,000円（第二期分・第三期分）を送金し一人当たり278ドルとなり目標達成。
2. ポリオ根絶のための寄付（目標一人当たり40ドル）：一人当たり40ドルとなり目標達成。
3. 恒久基金（1クラブ1,000ドル以上）：会員1名1,000ドルを送金で目標達成。

会員皆様のご協力に感謝いたします。有難うございました。また、中間報告でご報告いたしましたロータリー財団奨学生2名は現在も各大学で勉学に励まれておりますことをご報告いたします。

## 22. 米山奨学委員長

瀬 戸 映 男

2022年度におきまして、新米山奨学生が24名、継続奨学生が10名、合計34名の奨学生の援助をする予定でございます。今年度、米山奨学生試験に合格した、神奈川歯科大学の王冠博さんが、カウンセラーの佐久間先生に紹介され、会員との例会を楽しむことができましたよう。例会に出席し、例会時に奨学金の授与を行ったりして会員との交流を行います。例会時には日本語での挨拶や自己紹介、今やっていることなどを話し、交流を深めております。また、クラブのイベントにも出席していただき、日本の良さを知ってもらいます。先日は横須賀ならではの軍港クルーズも楽しんだようです。これからも、世界の懸け橋となる米山奨学生の支援を続けたいと思います。

## 23. VTT特別委員長

山 下 和 男

横須賀ロータリークラブは、ロータリー財団から提供されるグローバル補助金を活用し、フィリピン共和国のセブロータリークラブと共同で口唇口蓋裂治療を目的とした職業研修チーム（VTT Vocational Training Team）活動を行っております。

事業は本来2019年から3年間に亘る活動で、総事業費は163,000ドルの大型プロジェクトでございました。（GG1874420）2019年1月に、当クラブのメンバーを中心として職業研修チームが組成され、セブ島において口唇口蓋裂治療を行うとともに、セブ島における現地診察拠点を設立するに至りました。また

2020年にはフィリピン側から治療チームを日本に招いて、臨床研修を行い、その後日本側チームが再度現地において、術後患者のフォロー、新規患者の外科治療を行うという計画でございました。

しかし、新型コロナウイルスの世界的拡大において、昨年度及び今年度予定した事業は全て延期となってしまいました。本来であれば最終年度になる今年度も、計画がございましたが、ご承知のとおり、現状、VTTプロジェクトはコロナの影響で活動を休止しております。

ようやく、新型コロナの猛威も下火になり、海外への渡航制限も徐々に緩和され、VTT 活動再開の兆しが見えてきました。次年度は既に計画の見直しと現地での活動の方向性が話し合われております。次年度も会員の皆様の御協力と積極的なご参加をお願いいたします。

## 24. 中期ビジョン委員長

植 田 威

中期ビジョンは、クラブの理想像を示す方向性としての成長目標です。今年度はロータリー情報・研修委員会と連携し、年度2回の情報集会の機会を利活用させていただき、中期ビジョンの実現に向けて会員の皆様の多様なお考えを共有させていただきました。

(1) 会員の皆様が大切にしたいこと (2) 会員の皆様にとって豊かな魅力ある社会のキーワード (3) 会員の皆様が会員、関心のある奉仕活動、豊かな魅力ある社会を育てるために、会員の皆様が特に関心のある奉仕活動について整理させていただきました。クラブの奉仕活動がさらに「楽しく」「わくわく」するものに進化することを祈念いたしまして、以上、中期ビジョン特別委員会の報告させていただきます。

## 25. 幹 事

齋 藤 眞 且

新型コロナウイルスにより田邊年度、岡田年度、八巻年度と3期にわたってクラブ運営に制限が課せられました。今期八巻年度ではスタート直後と年明けからと2度新型コロナウイルスの蔓延が激化し、やむなく休会に追い込まれました。感染された会員、濃厚接触者に指定された会員、企業のコンプライアンスに順守するため例会に出席できない会員などが続出したのが休会になった原因でした。その結果、今月の残り2例会を含み開催すべき46例会の内13例会を休会とさせていただきました。このことは新型コロナウイルスに対する感染対策として有効であったと確信しております。他に感染対策として当クラブが行ったものには岡田年度から引き継いだ密にならないための着席表の作成、SAA と事務局三宅さんが出席人数に合わせて毎回作成していただきました。さらに岡田年度から引き継いで徹底したのが Zoom 出席を含めたハイブリッド例会の開催です。前年度は垣谷さんにお世話になり有料で行われてきたハイブリッド例会ですが今期は Zoom 委員会、IT 委員会が中心となり外注に頼らないハイブリッド例会のシステムを構築することができました。会員の皆様が知らないところで田中賢一会員、梁井会員は毎回例会開始時間の3時間前から会場で準備をし、例会終了後には30分近くかけて撤収していただきました。休会により開催できなかったイベントは後半に集中して行うこととなりました。横須賀学院中学校の生徒さんの職業体験学習では個々の体験学習は残念ながら中止になったものの田中由紀子会員が講義を実施していただきました。非常に好評だったことを付け加えさせていただきます。職場見学会では遠出が難しかった中で日本の近代化に寄与した横須賀という地を再発見する場を設けることができました。どちらも八木職業奉仕委員長が企画されました。

先日の第1グループ奉仕デーは中止となったIMの代わりに、やはり中止となった1万メートルプロムナードクリーン作戦と第1グループ合同例会を同時開催し、小泉進次郎氏を講師に青少年にSDGsの講演をしていただき成功裏に終了いたしました。北村ガバナー補佐、齋藤秀人補佐付幹事、澤田社会奉仕委員長、さらに広報、YouTubeのライブ配信などを担当くださった中村清乃会員にご尽力いただきました。北村ガバナー補佐が会長であった年度に問題提起されました例会時のフードロス対策では毎回の出欠を徹底して確認することで毎回異なるお弁当の数を確定し、「住よし」さんに注文することでほぼ解決いたしました。加藤淳出席委員長、小山美智恵親睦委員長、事務局三宅さん毎回の確認ありがとうございました。休会やフードロス対策で生じた予算で例会場のエアクリーナーを会議所に寄贈しました。例会時の卓話では普段なかなか聞けない医療系の内容を中心に企画し会員の皆様に今までにない内容に触れていただきました。さらに休会により一度中止になった花田光司氏の卓話の実現にもご尽力いただいた鹿島プログラム委員長、江口会員に感謝申し上げます。青少年に対してはコロナ禍の中、出来得る最大限の活動をしていただきました鈴木—oneインターアクト委員長、角井ローターアクト委員長、瀬戸米山奨学委員長、高橋隆一会員にご尽力いた

きました。他にも多くのセクションで多くの方々が八巻年度を支えてくださいました。そして何よりも会員の皆様の例会や行事への出席、それにかかわる出欠確認の励行などご協力いただき心からお礼申し上げます

<閉会・点鐘> 13:30 八巻 会長

週報担当 馬場 亮